



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



やさしさの木 ～やさしさの連鎖を生み出す～

子どもたちが、他の人がしている「やさしさ」に気づき、感謝の気持ちを表すことでやさしさが連鎖していくことをねらいとし、北小では「やさしさの木」を設置しています。子どもたちは気がついたときに、置いてある用紙に感謝の気持ちを記し、貼り付けていきます。これまでの取組でやさしさの木が随分と茂っています。先日は校内放送で1年生からの言葉が紹介されました。下に抜粋して載せましたのでご覧ください。

「ありがとう」と言われていやな気持ちなる人はいません。人に感謝される喜びは、次の行動に結びついていきます。北小が「ありがとう」でいっぱいになってほしいと願っています。

【1年生が書いた やさしさの木】

- 2年生へ なかよし会、ありがとう。いろんなところに連れて行ってくれてありがとう。
- 5年生へ いつもサッカーを一緒にやらせてくれてありがとう。
- 6年生へ 体力テストで世話してくれてありがとう。
いつもやさしくしてくれてありがとう。
おそうじの仕方をやさしく教えてくれてありがとう。
- お姉ちゃんへ 学校のことを教えてくれてありがとう。大好きだよ。 等



マスクを外すリスク < 熱中症のリスク ～自分で判断し、行動する～

熱中症のリスクを考慮し、体育の時間、休み時間、登下校などでは、感染症に留意しながらもマスクを外す指導をしているところです。しかし、マスクを外すことに関しては、正直なところなかなか思うように進みません。特に登下校などは、暑くてもマスクをしている子が多く、下校時などは「顔を真っ赤にして帰宅」などということもあると聞いています。

「まわりの子が外していないので・・・」「自分だけ外したら・・・」いろいろと理由はあるようですが、熱中症は命に関わることもありますので、しっかりと自己判断し、行動に移してほしいと思っています。家庭でもお話しください。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）

----- 切 り 取 り 線 -----